
上野和男年譜

1944年（昭和19年）

5月12日、東京都荒川区に生まれる。

1960年（昭和35年）

4月 明治大学附属明治高等学校入学。

8月 地理研究部の調査として、福島県南会津郡桧枝岐村の出作り小屋と木工品生産について調査。

10月 「桧枝岐村の山林と木工品の生産」を『地理研究』に発表。

1963年（昭和38年）

3月 東京都北多摩郡大和町（現在、東大和市）で大和町史の調査。『大和町史研究』に「大和町の共同組合」を発表。

4月 明治大学商学部商学科に入学。社会学研究部に所属。

8月 社会学研究部の調査として、三重県北牟婁郡海山町白浦（現在、紀北町海山区白浦）を調査。

1967年（昭和42年）

3月 明治大学商学部商学科を卒業。卒業論文「岩手県気仙郡三陸村下甫嶺の社会組織」。

4月 東京教育大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程入学。

9月 「三陸海村の親族組織—岩手県気仙郡三陸村下甫嶺—」を『民族学研究』に発表。

1970年（昭和45年）

3月 東京教育大学大学院文学研究科社会学専攻修士課程修了。文学修士（東京教育大学）。修士論文「山梨県一山村の社会組織の研究」。

1972年（昭和47年）

4月 明治大学政治経済学部助手。

1975年（昭和50年）

1975年～1979年 九学会連合奄美調査に参加。鹿児島県大島郡瀬戸内町管鈍、喜界町滝川を調査。

1976年（昭和51年）

4月 明治大学政治経済学部専任講師。

1979年（昭和54年）

4月 明治大学政治経済学部助教授。

1981年（昭和56年）

4月 国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員（民俗展示）。共同研究「儀礼と芸能における民俗的世界観に関する研究」共同研究員。

1982年（昭和57年）

4月 日本民族学会理事（1998年まで）

4月 国立民族学博物館共同研究員。共同研究「奄美・沖縄の宗教的世界」。

1984年（昭和59年）

4 月 国立歴史民俗博物館民俗研究部助教授。

1992 年（平成 4 年）

2 月 学術審議会専門委員。

11 月 国立歴史民俗博物館民俗研究部教授。

1993 年（平成 5 年）

4 月 国際日本文化研究センター情報システム検討委員会委員。

1994 年（平成 6 年）

4 月 国際日本文化研究センター共同研究員。「日本人および日本文化の地域性」。

1997 年（平成 9 年）

1997 年～2002 年 文部省科学研究費補助金特定領域研究「日本人および日本文化の起源に関する学際的研究」に参加。

1999 年（平成 11 年）

4 月 国立歴史民俗博物館運営協議員。総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史専攻教授に併任。

2003 年（平成 15 年）

7 月 国立歴史民俗博物館民俗研究部長を併任。

2004 年（平成 16 年）

4 月 人間文化研究機構企画連携室員。情報共有化委員会委員，連携研究委員会委員。

2010 年（平成 22 年）

3 月 国立歴史民俗博物館研究部（民俗研究系）教授，総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史専攻教授を定年により退職。

上野和男著作目録

- 001 (196010) 「桧枝岐村の山林と木工品の生産」『地理研究』 35:32-35.
- 002 (196303) 「大和町の協同組合」『大和町史研究』 9:44-49.
- 003 (196410) 「志摩の一漁村前島越賀見聞記」『地理研究』 39:8-15.
- 004 (196612) 「日本基礎社会の理解について」『Socius』 17 (2) :117-122
- 005 (196703) 「調査の課題と方法」明治大学社会学研究部編『昭和 40 年度実態調査報告書—岩手県南部における海岸部村落と内陸部村落の比較研究—』 pp.1-10.
- 006 (196703) 「親族体系」明治大学社会学研究部編『昭和 40 年度実態調査報告書—岩手県南部における海岸部村落と内陸部村落の比較研究—』 pp.87-128
- 007 (196703) 「むすびにかえて—岩手県内部の基礎社会—」明治大学社会学研究部編『昭和 40 年度実態調査報告書—岩手県南部における海岸部村落と内陸部村落の比較研究—』 pp.1-10.
- 008 (196709) 「三陸海村の親族組織—岩手県気仙郡三陸村下甫嶺—」『民族学研究』 32 (2) :155-165
- 009 (196800) 「岩手の農村と漁村」『Socius』 pp.3-6
- 010 (196800) 「65 年度研究活動報告—岩手調査の回顧—」『Socius』 pp.1-7
- 011 (196802) 「慶応 3 年と昭和 43 年における階層の比較分析—千葉県安房郡三芳村山名—」『東京教育大学民俗社会研究会報』 1:4-5.
- 012 (197012) 「涙を見せた老人たち」『Socius』 21 (2)
- 013 (197105) 「泉靖一先生と社会学研究部」『社友会報』 8:36-37.
- 014 (197105) 「ムラの間像」『Socius』 22 (1)
- 015 (197203) 「堀口」『勝田市の民俗』 pp.9-42.
- 016 (197211) 「セミの鳴き声が聞こえる」『社友会報』 9:19-20
- 017 (197301) 「年齢集団研究の諸問題」『社会伝承研究』 1:7-12.
- 018 (197301) 「年齢集団研究の方法について—村落構造類型論の立場から—」『社会伝承研究』 1:23-27.
- 019 (197303) 「山梨県—山村における親分子分関係の構造—山梨県中巨摩郡敷島町下芦沢の事例—」『政経論叢』 41 (6) :101-146.
- 020 (197303) 「家族構成」『北関東—村落におけるムラとイエ』 pp.46-55.
- 021 (197303) 「家族生活」『北関東—村落におけるムラとイエ』 pp.55-58.
- 022 (197303) 「隠居」『北関東—村落におけるムラとイエ』 pp.60-72
- 023 (197303) 「相続・分家・婚姻」『北関東—村落におけるムラとイエ』 pp.72-92.
- 024 (197303) 「本分家関係」『北関東—村落におけるムラとイエ』 pp.92-95
- 025 (197409) 「親分子分関係の構造類型」『社会伝承研究』 2:24-33.
- 026 (197403) 「山梨県—山村における隠居家族の分析—山梨県中巨摩郡敷島町下芦沢の事例—」『政経論叢』 42 (4.5.6) :277-339.

-
- 027 (197405) 「擬制的親子関係と村落構造」『講座家族』 6:343-357.
- 028 (197409) 「複合社会」『週刊アルファ』 208:4977.
- 029 (197410) 上野和男・高桑守史・福田アジオ・宮田登編『民俗調査ハンドブック』吉川弘文館
- 030 (197410) 「民俗調査の基礎作業」『民俗調査ハンドブック』 pp.7-22.
- 031 (197410) 「家族と親族」『民俗調査ハンドブック』 pp.39-52.
- 032 (197503) 「ミルズ」『週刊アルファ』 235:5636
- 033 (197503) 「家族の構成」『勝田市史・民俗編』 pp.102-107
- 034 (197503) 「家族生活」『勝田市史・民俗編』 pp.108-119
- 035 (197503) 「相続と分家」『勝田市史・民俗編』 pp.119-134
- 036 (197503) 「親類の範囲と機能」『勝田市史・民俗編』 pp.175-185
- 037 (197503) 「義理とつきあい」『勝田市史・民俗編』 pp.200-214
- 038 (197503) 「日本村落社会における親分子分関係の構造」『政経論叢』 43 (6) :65-102
- 039 (197505) 「安房山名の近隣組織」『社会伝承研究』 4:44-53
- 040 (197603) 「三上の家族組織—大中小路の事例を中心とした予備的報告—」『近江村落社会の研究』 1:19-26.
- 041 (197604) 「社会調査の理論と技法」『社会学』 pp.241-274.
- 042 (197608) 「親族組織」『奄美瀬戸内町管鈍第一次調査報告』 pp.3-4
- 043 (197703) 「五島の祖名継承法と親族組織—長崎県福江市増田の事例を中心として—」『政経論叢』 45 (6) :87-127
- 044 (197703) 「南桜の隠居制家族と屋敷先祖祭祀」『近江村落社会の研究』 2:16-23
- 045 (197703) 「五島の祖名継承法の構造」『現代社会の実証的研究—東京教育大学社会学教室最終論文集—』 pp.24-28
- 046 (197704) 「書評・江守五夫『日本村落社会の構造』」『農林省図書館資料月報』 28 (4) :130
- 047 (197708) 「家族構成とその変化」『奄美瀬戸内町管鈍第二次調査報告』 pp.7-11
- 048 (197712) 「人質としての孫—親子関係の社会学—」『資料センターニュース』 6:26-28
- 049 (197803) 上野和男編「近江湖西農村社会の構造—滋賀県高島郡高島町伊黒—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 14:157-276.
- 050 (197803) 「祖名継承法と祖先崇拜—滋賀県高島郡高島町伊黒—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 14:252-256
- 051 (197803) 「神風講・厚生社関係文書解説」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 14:274-276
- 052 (197803) 「奄美大島管鈍における家族の変化」『人類科学』 30:45-70.
- 053 (197803) 「三上の農業構造と労働力構成—1970.1975 年農業センサス農業集落カードの分析を中心として—」『近江村落社会の研究』 3:62-74
- 054 (197803) 「社会」『川越市史』 4:617-732.
- 055 (197807) 「リントンの理論」蒲生正男編『現代文化人類学のエッセンス—文化人類学理論の歴史と展開—』 pp.205-216
-

-
- 056 (197810) 上野和男・高桑守史・野村純一・福田アジオ・宮田登編『民俗研究ハンドブック』
吉川弘文館
 - 057 (197810) 「家族と親族」『民俗研究ハンドブック』 pp.63-77
 - 058 (197810) 「都市民俗学」『民俗研究ハンドブック』 pp.257-263
 - 059 (197903) 上野和男編「奥能登柳田農村社会の構造—石川県鳳至郡柳田村小間生・鈴ヶ嶺—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 pp.279-403
 - 060 (197903) 「位牌祭祀と祖名継承法—石川県鳳至郡柳田村小間生・鈴ヶ嶺—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 15:399-403
 - 061 (197903) 「明治前期南桜村の家族構成と婚姻形態」『近江村落社会の研究』 4:62-79
 - 062 (197909) 「大間知篤三—その研究と方法—」, 瀬川清子・植松明石編『日本民俗学のエッセンス』 pp.223-241
 - 063 (197909) 「交際」『日本を知る小事典』 1:237-256.
 - 064 (197909) 「家族構成と婚姻形態」『奄美喜界島滝川の社会構造とその変化』 pp.25-28
 - 065 (198003) 「御上神社秋祭の構造と親族組織」『近江村落社会の研究』 5:37-51
 - 066 (198003) 上野和男編「近江湖東村落社会の構造—滋賀県愛知郡愛東町小倉—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 16:233-374
 - 067 (198003) 「祖先祭祀と家族—滋賀県愛知郡愛東町小倉—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 16:357-364
 - 068 (198003) 「喜界島滝川 20 年の社会変化」『奄美における自然・社会・文化に関する総合研究』 pp.69-72
 - 069 (198003) 「自殺と家族—核家族化と自殺の関連を中心に—」『昭和 53.54 年度学生相談室報告』 pp.4-21
 - 070 (198005) 「ハラとハロジ」『講座日本の民俗』 2:139-156.
 - 071 (198005) 「昭和初期における家族研究の展開—柳田国男と大間知篤三を中心として—」『家族史研究』 1:180-190.
 - 072 (198103) 上野和男編「近江湖東村落社会の構造（そのⅡ）—滋賀県愛知郡愛東町青山—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 17:185-285
 - 073 (198103) 「祖先祭祀の構造—滋賀県愛知郡愛東町青山—」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 17:259-270.
 - 074 (198103) 「御上神社秋祭における頭屋の役割—昭和 54 年東座頭屋の『神事記録帳』から—」『近江村落社会の研究』 6:46-63
 - 075 (198103) 「近江湖東の宮座祭祀—愛知川流域の二つの村の事例を中心に—」坪井洋文編『祭祀的世界と村落—儀礼・司祭者・共同体—』 pp.56-70.
 - 076 (198108) 「祭り和社会構造—奄美管鈍の豊年祭を中心に—」『歴史公論』 7 (8) :93-99
 - 077 (198108) 「日本の祖名継承法と祖先祭祀」『第 5 回アジア民俗学大会・大会プログラム・要旨』 pp.41-45
 - 078 (198108) 「村制と族制」『日本民俗学』 136:13-19
-

-
- 079 (198111) 「追悼の辞」 明治大学蒲生会編『明治大学蒲生会会報・蒲生正男先生追悼号』 pp.1-2.
- 080 (198112) 「フィールドノート―蒲生正男先生への追悼―」 明治大学政治経済学部政経資料センター編『資料センターニュース特別号・蒲生正男教授追悼号』 pp.19-21.
- 081 (198201) 「女性・主婦・家族」『国文学・解釈と教材の研究』 27 (1) :116-121
- 082 (198202) 「さよなら 609 号室―蒲生正男先生への追想のつづき―」 明治大学大学院社会人類学研究会編『追悼―蒲生正男先生―』 pp.3-5
- 083 (198202) 「奄美の村落社会構造における伝統と変化―喜界島滝川の事例を中心として―」 九学会連合奄美調査委員会編『奄美―自然・文化・社会―』 pp.464-491
- 084 (198203) 上野和男編「対馬南部村落社会の構造―長崎県下県郡厳原町久根浜―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 18:153-290
- 085 (198203) 「祖先祭祀―長崎県下県郡厳原町久根浜―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 18:285-290.
- 086 (198203) 「日本の祖名継承法と家族―祖先祭祀と家族類型についての一試論―」『政経論叢』 50 (5.6) (蒲生正男教授追悼論文集) pp.249-321.
- 087 (198203) 「蒲生正男先生と社会人類学」『政経論叢』 50 (5.6) (蒲生正男教授追悼論文集) pp.433-443.
- 088 (198203) 「蒲生正男先生年譜」『政経論叢』 50 (5.6) (蒲生正男教授追悼論文集) pp.445-450.
- 089 (198203) 「蒲生正男先生著作目録」『政経論叢』 50 (5.6) (蒲生正男教授追悼論文集) pp.451-450.
- 090 (198207) 「奄美豊年祭にて」 明治大学政治経済学部政経資料センター編『資料センターニュース特別号・中野渡信行教授追悼号』 pp.11-12
- 091 (198210) 「社会人類学における村落社会研究の動向」『村落社会研究』 18:265-275.
- 092 (198303) 上野和男編「奄美喜界島の祭祀と社会構造―鹿児島県大島郡喜界町嘉鈍―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 19:211-297
- 093 (198303) 「祖先祭祀―鹿児島県大島郡喜界町嘉鈍―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 19:291-297.
- 094 (198303) 上野和男編「対馬北部漁村社会の構造―長崎県上県郡上対馬町鰐浦―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 19:299-479
- 095 (198303) 「位牌祭祀と祖名継承法―長崎県上県郡上対馬町鰐浦―」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 19:474-479
- 096 (198303) 「蒲生正男ゼミナール村落調査 20 年史」『明治大学政経学部社会学関係ゼミナール報告』 19: 209-210.
- 097 (198303) 「奄美喜界島の祖先祭祀と家族―嘉鈍の墓制と位牌祭祀を中心に―」『政経論叢』 51 (5.6) :77-123
- 098 (198303) 「書評・渡辺欣雄編『親族の社会人類学』」『民族学研究』 47 (4) :402-404
- 099 (198305) 「家族研究用語解説」『家族とは、家庭とは（現代のエスプリ別冊） 5:186-196
-

-
- 100 (198309) 上野和男・大越公平編『奄美の神と村』(現代のエスプリ 194) 至文堂
 - 101 (198309) 「奄美の神と村への誘い」『奄美の神と村』(現代のエスプリ 194) p.5
 - 102 (198309) 「奄美の社会構造」『奄美の神と村』(現代のエスプリ 194) pp.7-23.
 - 103 (198309) 「奄美の親族と社会構造」『奄美の神と村』(現代のエスプリ 194) pp.72-74
 - 104 (198309) 「奄美の祖先祭祀と家族」『奄美の神と村』(現代のエスプリ 194) pp.129-130.
 - 105 (198309) 「分家研究の展開と課題」『社会伝承研究』7:20-24.
 - 106 (198312) 「日本民俗社会の基礎構造」『日本民族文化の源流の比較研究シンポジウム V 社会組織プログラム・抄録』 pp.1-14
 - 107 (198402) 「頭島の社会構造と民俗—瀬戸内海の一海村のモノグラフ—」『政経論叢』52 (34) :181-250.
 - 108 (198403) 上野和男・蓼沼康子「奄美の女性のライフヒストリー」綾部恒雄編『通過儀礼と世界観』 pp.125-135
 - 109 (198405) 「大家族・小家族・直系家族—日本の家族研究の三つの系譜—」『社会人類学年報』10:29-50
 - 110 (198406) 「家族の構造」『日本民俗文化大系』8:409-454.
 - 111 (198411) 「日本の位牌祭祀について—『位牌分け』を中心として—」『長野県民俗の会会報』7:1-16.
 - 112 (198412) 「奄美と沖縄—南島民俗の多様性—」『歴博』8:4-5.
 - 113 (198503) 「南島の世界」『月刊文化財』258:30-33
 - 114 (198503) 「日本の位牌祭祀と家族—祖先祭祀と家族類型についての一考察—」『国立歴史民俗博物館研究報告』6:173-249
 - 115 (198506) 「母子家族」『歴博』11
 - 116 (198509) 「『日本の家』へのコメント」『民族学研究』50 (2) :229-231.
 - 117 (198509) 「祖先祭祀と家族—最近の家族研究の動向から—」『民俗フォーラム』1:6-9.
 - 118 (198510) 「誌上展示・南島の世界」『歴博』13:8-9
 - 119 (198512) 「日本人の名前—民俗学から—」『歴博』14:15
 - 120 (198601) 「家族の伝統と変容」『日本民俗文化大系』12:229-266
 - 121 (198603) 「社会学」日本民族学会編『日本の民族学 1964-1983』 pp.145-148
 - 122 (198603) 上野和男編『若狭国富村落社会の構造—福井県小浜市高塚—』(明治大学上野ゼミナール調査報告 8)
 - 123 (198603) 「祖先祭祀」『若狭国富村落社会の構造—福井県小浜市高塚—』(明治大学上野ゼミナール調査報告 8) pp.165-169.
 - 124 (198603) 上野和男編『若狭内外海村落社会の構造—福井県小浜市堅海—』(明治大学上野ゼミナール調査報告 9)
 - 125 (198603) 「祖先祭祀の構造」『若狭内外海村落社会の構造—福井県小浜市堅海—』『明治大学上野ゼミナール調査報告 9』 pp.154-158
 - 126 (198603) 上野和男編『奄美沖永良部島の社会構造—鹿児島県大島郡泊町古里—』(明治大
-

学政経学部上野ゼミナール調査報告 10)

- 127 (198603) 「古宇利島海神祭の時間論」坪井洋文編『日本人の民俗的時間認識に関する総合的研究』 pp.119-132.
- 128 (198605) 「日本民俗社会の基礎構造—日本社会の地域性をめぐって—」竹村卓二編『日本民俗社会の形成と発展』 pp.23-46.
- 129 (198608) 「春日若宮おん祭」『歴博』 18:10-11
- 130 (198703) 「新しい家族研究の表象—森岡清美『家の変貌と先祖の祭』の位置—」『列島の文化史』 4:156-158.
- 131 (198703) 「近江湖東における宮座の組織と儀礼—滋賀県愛知郡愛東町青山の事例—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 15:301-353.
- 132 (198703) 「社会組織の調査基準」『民俗の地域差と地域性—中間報告 I—』 p.82.
- 133 (198707) 上野和男・高桑守史・福田アジオ・宮田登『新版民俗調査ハンドブック』吉川弘文館
- 134 (198707) 「民俗調査の基礎作業」『新版民俗調査ハンドブック』 pp.7-24.
- 135 (198704) 「ひなまつりとこいのぼり」『歴博』 22
- 136 (198706) (編)『蒲生正男著作目録・蔵書目録』
- 137 (198708) 「博物館の原点」『歴博』 24:1
- 138 (198802) 「祖先祭祀に関する文献目録」『生者と死者—祖先祭祀—』(シリーズ家族史 1) pp.1-15.
- 139 (198802) 「東アジアにおける養子の比較研究」『擬制された親子—養子—』(シリーズ家族史 2) pp.181-205.
- 140 (198802) 「家族のなりたち」『歴博』 27:8-9
- 141 (198803) 「祖谷の隠居制家族—家族の構造と祖先祭祀を中心に—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 18:171-213.
- 142 (198803) 「南島の民俗展示—奄美・沖縄の民俗博物館—」岩井宏實編『民俗展示の構造化に関する総合的研究』 pp.51-59.
- 143 (198803) 上野和男編『南西諸島の家族の伝統と変容に関する調査研究』国立歴史民俗博物館
- 144 (198803) 「波照間島の家族組織と祖先祭祀」上野和男編『南西諸島の家族の伝統と変容に関する調査研究』 pp.1-15
- 145 (198804) 「苗族の言語・農耕・社会組織の調査」『歴博』 28:7
- 146 (198809) 「人と学問・蒲生正男—日本社会の社会人類学—」『社会人類学年報』 14:117-139.
- 147 (198810) 「都市民俗学」張紫晨編『民俗調査与研究』 pp.680-686 河北人民出版社
- 148 (198812) 「蒲生正男—日本人の生活構造をもとめて—」綾部恒雄編『文化人類学群像』3:433-450.
- 149 (198812) 「芋くらべの村の映像記録—『近江中山民俗誌』の制作—」『歴博』 32:10-11.
- 150 (198812) 「日本の伝統的家族とその変容—社会人類学からの視点—」『講座家族心理学』3:37-56
- 151 (198903) 「隠居分家と位牌祭祀—三重県西部山村の事例—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 21:61-85
- 152 (198903) 「坪井洋文年譜」『国立歴史民俗博物館研究報告』 21:291-296
-

-
- 153 (198903) 「坪井洋文著作目録」『国立歴史民俗博物館研究報告』 21:297-306
 - 154 (198903) 「伝統的地方都市町内の家族構成—明治初期の川越鍛冶町・喜多町を中心として—」
『国立歴史民俗博物館研究報告』 24:1-42
 - 155 (198905) 「坪井洋文氏略歴」『無限大』 81:12
 - 156 (198905) 「坪井洋文主要著作目録」『無限大』 81:12
 - 157 (198905) 「坪井マンダラと民俗展示」『無限大』 81:16-17
 - 158 (198906) 「坪井洋文年譜抄」『追悼坪井洋文』 pp.219-221
 - 159 (198906) 「坪井洋文著作抄」『追悼坪井洋文』 pp.222-223
 - 160 (198907) (編)『坪井洋文年譜・著作目録』, 坪井洋文さんを偲ぶ会
 - 161 (198903) 「日本人の自殺」『歴博』 36:15
 - 162 (198912) 「民俗誌データベースの作成と公開」『歴博』 38:12-13
 - 163 (199003) 「方法論の三角形—ウエーバー・デュルケム・柳田国男—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 27:89-111.
 - 164 (199101) 「名前・伝統文化・女性」『しにか』 2 (1) :67-72
 - 165 (199102) 「新年・豚殺し・親族」『しにか』 2 (2) :66-70
 - 166 (199103) 「鍵・竈・家族」『しにか』 2 (3) :65-69
 - 167 (199103) 「ナマハゲ・トシドン・アカマタクロマター日本の仮面仮装来訪神とその地域性—」
大林太良編『日本人とその文化の地域性』, pp.16-21
 - 168 (199103) 上野和男・岩本通弥・橋本裕之「近江中山の芋くらべ祭—映像民俗誌『芋くらべ祭の村—近江中山民俗誌—』の記録」『国立歴史民俗博物館研究報告』 32:141-260
 - 169 (199103) (編)『民俗誌のデータベース化に関する調査研究』
 - 170 (199107) 「『叔父』と『叔母』の謎—日本人にとっての叔父と叔母—」『言語』 20 (7) :62-67
 - 171 (199110) 「波照間島の仮面仮装来訪神」『歴博』 49:10-11
 - 172 (199111) 「日本の地域性研究における類型論と領域論」『国立歴史民俗博物館研究報告』
35:241-270
 - 173 (199203) 上野和男・祖父江孝男「日本民族学会第一期研究倫理委員会についての報告—」『民族学研究』 56 (4) :440-451
 - 174 (199203) 「序言」『国立歴史民俗博物館研究報告』 41:1-3
 - 175 (199203) 「祖先祭祀と家族・序論」『国立歴史民俗博物館研究報告』 41:7-21
 - 176 (199203) 「荒蒔の神社祭祀と社会構造—宮座・家族・村落組織を中心として—」『国立歴史民俗博物館研究報告』 43:245-310
 - 177 (199203) 「現代の記録としての民俗誌」『東村山市史研究』 1:126-127
 - 178 (199203) 『日本民俗社会の基礎構造』, ぎょうせい
 - 179 (199206) 「名前とはなにか」『歴博』 53:2-3
 - 180 (199206) 「調査研究とプライバシー」『民族学研究』 57 (1) :73-75
 - 181 (199208) 「出産と命名」『市報東村山』 687:3
 - 182 (199302) 「日本の隔世代関係についての一考察—儀礼的隔世代関係, 隠居孫, 隔世代祖名継
-

-
- 承法を中心に―『国立歴史民俗博物館研究報告』50:279-300
- 183 (199302) 「石敢当とは何ですか?」『歴博』57:24
- 184 (199303) 「東村山の神社と祭礼―秋津氷川神社を中心に―」『東村山市史研究』2:70-89
- 185 (199303) 「現代日本人の Namen と民俗」『知求人』4:2-3
- 186 (199309) 「家族のなかの女性―女性のライフ・ヒストリーから―」『いえとむらの農政学』, pp.65-85
- 187 (199309) 「家族の地域性と『いえ』」『いえとむらの農政学』, pp.171-176
- 188 (199311) 「日本の隠居制家族の構造とその地域的変差」『国立歴史民俗博物館研究報告』52:97-159
- 189 (199403) 「父母の祖先祭祀の分割についての一考察―分牌祭祀を中心として―」『国立歴史民俗博物館研究報告』57:129-179
- 190 (199403) 「奄美と南九州―家族の地域差を中心に―」『南九州の地域性と文化を語る』, pp.12-15
- 191 (199403) 「火をまたぐ花嫁」『市報東村山』725:3
- 192 (199405) 「日本の家族と村落」『仏教大学総合研究所報』6:32-33
- 193 (199407) 「岡正雄―その研究と方法―」『日本民俗学のエッセンス (増補版)』pp.375-395
- 194 (199408) 「日本の祖先信仰の歴史と現在」『歴博』66:4-5
- 195 (199411) (比嘉政夫・渡名喜明・上野和男)「沖縄の門中と家譜―中国文化をどう受容したか―」『歴博』68:4-7
- 196 (199412) 「民俗―現代に生きる伝統―」『図説東村山市史』, pp.232-269
- 197 (199503) 「年中行事の調査方法」『伊那民俗研究』5:9-24
- 198 (199504) (実行委員会編)「第46回日本民俗学会年会記録―公開講演及びシンポジウム―」『鹿児島民俗』106:2-45
- 199 (199509) 「カミ祭祀の変容」『市報東村山』1995/09/01:3
- 200 (199602) 「日本家族の地域性」『事典家族』, pp.139-140.
- 201 (199602) 「祖名継承法」『事典家族』, pp.574-575.
- 202 (199602) 「名前」『事典家族』, pp.654-655. (ほかに「姉妹型順位呼称法」「名替え」「幼名」)
- 203 (199603) 「社会構造論・家族研究」『日本民族学の現在―1980年代から 1990年代へ―』, pp.72-84
- 204 (199603) 「波照間島の祖先祭祀と農耕儀礼―ムシャーマ行事を中心に―」『国立歴史民俗博物館研究報告』66:179-212.
- 205 (199603) 「日本の家族と村落」, 仏教大学総合研究所編『東アジアの村落と家族』, pp.128-133.
- 206 (199605) 「問題提起・名前と社会」『会報比較家族史』26:2
- 207 (199701) 「沖縄古宇利島集落模型」『歴博』80:28-29.
- 208 (199702) 「同族と親類」『講座日本の民俗学』3:97-110.
- 209 (199703) 「中国西南部における父子連名制と家族組織―貴州省苗族の二村落の事例を中心として―」『国立歴史民俗博物館研究報告』70:123-159.
- 210 (199703) 「(座談会) むらの女性の五十年」『むらの女性の五十年』(むらを語る10),
-

-
- pp.47-111.
- 211 (199700) 「(書評) 高橋統一著『村落社会の近代化と文化伝統』」『民族学研究』62 (1) :116-118.
- 212 (199802) 「伝統料理と郷土料理」『食文化概論』, pp.41-54.
- 213 (199803) 「(座談会) 伝承と農業」『伝承と農業』(むらを語る 11), pp.55-101.
- 214 (199803) 「奄美・沖縄の名前と命名法」『日本人と日本文化—その起源を探る—』4:23.
- 215 (199811) 「日本名前事典」(1-2), 『国立歴史民俗博物館友の会ニュース』80-8.
- 216 (199903) 「波照間島の家族組織と婚姻形態」『日本人および日本文化の起源に関する学際的研究・平成 10 年度成果報告書』, pp.99-101.
- 217 (199906) (共編)『名前と社会—名づけの家族史—』, 早稲田大学出版部
- 218 (199906) 「名前と社会をめぐる基本的諸問題」『名前と社会—名づけの家族史—』, pp.3-27.
- 219 (200002) 「〈座談会〉女と男, 家と村」, 都出比呂志・佐原真『女と男, 家と村』(古代史の論点 2), pp.5-76.
- 220 (200003) 「伝統料理と郷土料理」『食文化概論・衛生法規』(必修編調理師教科全書 1), pp.32-39.
- 221 (200003) 「日本の仮面仮装来訪神の特質とその地域的変差」『平成 11 年度「日本人および日本文化の起源に関する学際的研究」成果報告書』, pp.162-164.
- 222 (200003) 「イエと社会」『市報東村山』868:3.
- 223 (200006) 「生家訪問の実態—山形県温海町越沢・木野俣—」, 植野弘子・蓼沼康子編『日本の家族における親と娘—日本海沿岸地域における調査研究—』, pp.24-31.
- 224 (200303) 『宮座におけるカミ観念の比較研究—地域的特質と歴史的展開—』(文部省科学研究費補助金基盤研究研究成果報告書)
- 224 (200006) 「新潟県山北町」植野弘子・蓼沼康子編『日本の家族における親と娘—日本海沿岸地域における調査研究—』, pp.43-52.
- 225 (200008) 「日本と沖縄の仮面仮装来訪神」『「日本人・日本文化」学際シンポジウム予原集』, pp.45-47.
- 226 (200009) 「日本と沖縄の仮面仮装来訪神」『日本人と日本文化—その起源を探る—』14:19.
- 227 (200101) 「儒教思想と日本の家族」『東アジアにおける文化交流—儒教思想と民間説話—』, pp.79-82.
- 228 (200103) 「日本海沿岸地域の婚姻儀礼とその意義」『平成 12 年度「日本人および日本文化の起源に関する学際的研究」成果報告書』, pp.182-184.
- 229 (200205) 「記録と祭祀—家族生活史のなかの写真—」『歴博』112:7-11
- 229 (200207) 「沖縄の名前と社会—閉鎖的な名前体系の一事例として—」『琉球・アジアの民俗と歴史』(比嘉政夫教授退官記念論集), pp.41-60
- 230 (200303) 『伝統的・地方都市の地域的特性とその変容に関する比較研究—関東圏と中部圏を中心に—』(文部省科学研究費補助金基盤研究研究成果報告書),
- 231 (200303) 「佐原祭礼の映像資料制作について」『伝統的・地方都市の地域的特性とその変容に関する比較研究—関東圏と中部圏を中心に—』(文部省科学研究費補助金基盤研究研
-

-
- 究成果報告書), pp.36-61
- 232 (200303) 「関東の伝統的・地方都市の地域特性—川越と佐原を中心に—」『国立歴史民俗博物館研究報告』103:375-387
- 233 (200303) 「基幹研究『日本における都市生活史の研究』序論」『国立歴史民俗博物館研究報告』103:1-10
- 234 (200303) 「儒教思想と日本の家族—家族組織と祖先祭祀を中心に—」『国立歴史民俗博物館研究報告』106:137-145
- 235 (200402) 「奈良県東北部村落における宮座の組織と儀礼—室生村・多田・染田を中心に—」『国立歴史民俗博物館研究報告』112:315-330
- 236 (200410) 「蒲生正男『日本人の生活構造序説』,「有賀喜左衛門『大家族制度と名子制度』,「有賀喜左衛門『同族と村落』」(『文化人類学文献辞典』, 弘文堂,
- 237 (200503) 上野和男編『都市の地域特性の形成と展開過程Ⅱ』(『国立歴史民俗博物館研究報告』124)
- 238 (200503) 「都市の地域特性の形成と展開過程序論—基幹研究『日本における都市生活史の研究(第2期)』の研究概要—」, 上野和男編『都市の地域特性の形成と展開過程Ⅱ』(『国立歴史民俗博物館研究報告』124), pp.1-11
- 239 (200503) 「都市の地域特性と映像民俗誌の作成—佐原の映像民俗誌作成をめぐる諸問題—」, 上野和男編『都市の地域特性の形成と展開過程Ⅱ』(『国立歴史民俗博物館研究報告』124), pp.253-299
- 240 (200503) 「東アジアの民俗学の発展をめざして—韓国国立民俗博物館との学術交流—」『歴博』129:24-25
- 241 (200603) 上野和男編『科学研究費補助金・基盤研究A(1)「現代の宮座の総合的調査研究および宮座情報データベースの構築」研究成果報告書』, 国立歴史民俗博物館
- 242 (200603) 「久井稲生神社の宮座組織」上野和男編『科学研究費補助金・基盤研究A(1)「現代の宮座の総合的調査研究および宮座情報データベースの構築」研究成果報告書』, 国立歴史民俗博物館, pp.78-83
- 243 (200603) 上野和男ほか編『名前と社会—名づけの家族史—』(シリーズ比較家族), 早稲田大学出版部。
- 244 (200609) 上野和男ほか監修, 石井米雄総監修『人類大図鑑』, ネコ・パブリッシング。
- 245 (200903) 「日本の社会構造の研究」『歴博』, 153:26-27
- 246 (200911) 福田アジオ・古家信平・上野和男・倉石忠彦・高桑守史『図説日本民俗学』, 吉川弘文館
- 247 (200911) 「氏神と氏子」『図説日本民俗学』, pp.228-236

(上野和男編)